

2023年10～11月開催オンライン講演のお知らせ

主催：認定NPO法人江戸城天守を再建する会

講演会：福山城：令和の大普請によって天守北側鉄板が蘇る

福山城（広島県福山市）は、1622年徳川家康の従兄弟である水野勝成によって築城された平山城です。海に面した半島であった小山を上中下三段の石垣によって人工的な石垣の山に造り替え、その難段に五重天守をはじめ6基の天守級の三重櫓、16基の二重櫓、総延長573mの多門櫓が配置されました。10万石の大名の居城としては桁違いの規模が、築城当時、福山藩周辺から西日本一帯を占めていた有力な外様大名が反乱を起こすことを抑止する、いわば西国鎮衛のために必要でした。

天守の特徴の一つが北側の鉄板張りの壁でした。五重五階、半地下一階のうち、半地下階から四階までの北側外壁には、びっしりと黒塗りの鉄板が打ち付けてありました。天守北面は山が連なることで、背面側は堀や高い石垣が築けず、これを解消するための全国唯一の防御施設です。

戦災焼失し1966年に外観復元されていた天守の老朽化に伴う耐震改修工事と合わせて、天守北面の鉄板張りの復元が昨年「福山城築城400年記念事業」として完成しました。

<https://www.kokuchpro.com/event/231022/>

日時：令和5年10月22日（日）（申込締切 10月18日（水））
14：00～15：40（途中10分間休憩含む）

講師：皿海 弘樹

公益財団法人ふくやま芸術文化財団
福山城博物館 学芸員



講演会：島原城の歴史と観光的活用～新たな価値の発見～

島原城（長崎県島原市）は、松倉重政が一国一城令発布後の元和4（1618）年から約7年の歳月をかけて築いた城郭です。島原・天草一揆の際には大手門が一揆勢に攻撃されますが、落城せず城郭の堅牢性を証明しました。その後、島原藩主の改易が続きますが、深溝松平家が入部して以降は25年間の戸田家の時代を除き松平家が藩主を務めました。寛政4（1794）年には「島原大変」という大規模な火山災害に襲われますが、島原城は大規模な被害を免れ、幕末まで島原半島の中心として存続しました。

島原城は現在、国史跡指定を目指して調査研究を進めています。この調査研究によって見出されつつある島原城の新たな価値（魅力）についてご紹介します。[吉岡氏]

なお島原市より指定管理者として会社設立の2016年より7年間島原城を管理運営しているのが島原観光ビューローです。島原城の運営だけでなく新たな観光資源としての城を活用して、新しいデジタルコンテンツやナイトエコノミーなど様々な企画に取り組んでいます。現場で体感した苦労や面白味などをご紹介。来年迎える築城400年の記念事業に向けた取り組みなどもお話しします！[未續氏]

<https://www.kokuchpro.com/event/231112/>

日時：令和5年11月12日（日）（申込締切 11月8日（水））
14：00～15：40（途中10分間休憩含む）

講師：吉岡 慈文（写真上）

島原市教育委員会社会教育課 文化財保護推進室

未續 理（写真下）

株式会社島原観光ビューロー
商品企画販売部担当部長



・参加費：会員無料／非会員3,000円

・申込方法：QRコードから「こくちーず」で申込み、もしくは以下の申込先まで。

・視聴方法：[ZOOMを使ったオンライン講演](#) お申込者へ前日までにメールで参加情報を送ります。

・問合せ先：下記事務局、なお金土日は事務局閉局のため直前の問合せは近藤までお願いします。

・申込先：江戸城天守を再建する会 事務局（月～木 10:30～16:30）

Mail: info@npo-edojo.org FAX: 03-6423-1897 ☎03-6423-1882

・会費の振込先：三井住友銀行光が丘支店（普）0851894 ゆうちょ銀行 00120-9-578881

・進行役：近藤（理事）kondo1007@gmail.com ・リモートホスト：黒木（理事）hidekuro@nifty.com